

2022 年 6 月 17 日

The Emerging Markets Weekly

FOMC を経ても材料出尽くしには至らず

新興国市場：前週末 10 日、アジア時間の新興国通貨は米 5 月消費者物価指数 (CPI) の発表を控えてまちまち。KRW や THB が下落も、CNY は堅調な中国株式市場が支えとなった。欧米時間の新興国通貨は下落。米 5 月 CPI の再加速に一段の金融引き締め観測が高まり、米金利上昇、米株安、ドル高が進んだ。ZAR は前日比▲2.2%下落、BRL や MXN も同▲1%超値を下げた。週初 13 日、新興国通貨は前週末の流れを引き継ぎ続落。アジア時間では、KRW や IDR が大幅に下落した。欧米時間には、FRB の金融引き締め観測がさらに過熱。米 10 年国債利回りが 2011 年以来の水準まで上昇するなかで、米株安とドル高が進んだ。BRL と MXN は前日比▲2%超下落、ZAR も同▲1.6%下落した。14 日、新興国通貨はまちまち。アジア時間は、米金利に反落の動きがみられたことで、一方向の売りは手控えられた。THB や IDR、KRW が弱含むも、CNY や PHP、SGD が堅調。欧州時間は比較的落ち着いた推移となるも、米国時間に米金利が再上昇の動きを見せるにつれ、新興国通貨への下押し圧力が強まった。MXN は 4 日続落、一方で ZAR は 4 日ぶりに反発した。15 日、アジア時間の新興国通貨は FOMC を控えた様子見ムードに小動き。KRW は 5 日続落、CNY は市場予想より堅調だった主要経済指標が支えとなった。欧米時間の新興国通貨は反発。FOMC 後の会見でパウエル FRB 議長が、今回のような 75bp の利上げが普通になるとは考えていないと発言すると市場のセンチメントが改善。ZAR や MXN、BRL は前日比+1%超上昇した。16 日、アジア時間の新興国通貨は FOMC 後の流れを引き継ぎ概ね堅調。KRW や MYR や THB がしっかり。欧米時間の新興国通貨はまちまち。米景気の先行き懸念からリスク回避ムードが高まり、ZAR は前日比▲1.5%下落、MXN も値を下げた。他方、ドル安ユーロ高が進んだことで、東欧通貨は堅調さが目立った。

アジア：10 日発表の中国 5 月消費者物価指数 (CPI) は前年比+2.1%と前月から横ばい。5 月卸売物価指数 (PPI) は前年比+6.4%と前月 (同+8.0%) から鈍化した。タイ中央銀行 (BOT) のセタブット総裁は 13 日、インフレが高進しており、利上げを先送りにすれば国内経済を害するリスクが高まるとの認識を示した。景気回復で、超緩和的な金融政策の必要性は低下しているとした。13 日発表のインド 5 月 CPI は前年比+7.0%と前月 (同+7.8%) から減速も、インド準備銀行 (RBI) の目標レンジ (+2.0~6.0%) を 5 か月連続で上回った。台湾中央銀行 (CBC) は 16 日、政策金利を 12.5bp 引き上げ 1.500%にすると決定。利上げは 2 会合連続となる。景気面にも配慮し、利上げ幅は前回比縮小した。

中東欧・アフリカ：ロシア中央銀行 (CBR) は 10 日、政策金利を 150bp 引き下げて 9.50%にすると決定。政策金利はウクライナ侵攻前の水準まで低下したことになる。声明文では、今後数回の会合で利下げの必要性を検討するとした。

ラテンアメリカ：ブラジル中央銀行 (BCB) は 15 日、全会一致で政策金利を 50bp 引き上げ、13.25%にすることを決定した。利上げは 11 会合連続。また、BCB は声明文で、次回会合で同程度もしくは小幅な追加利上げを示唆した。

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
堀 亮大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

市場概観(新興国)

PMI はインフレ高進の余地を示唆

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数 (PMI) によれば、5 月製造業 PMI は 52.4 と前月 (52.3) からほぼ横ばい。地域別には、新興国で生産 (46.4) と新規受注 (49.0) が前月から上昇したものの、拡大/縮小の目安となる 50 は回復できなかった (図表 1)。また、先進国は生産 (52.6) が 4 か月ぶりに低下、新規受注 (52.4) は 5 か月連続の低下となった (図表 2)。

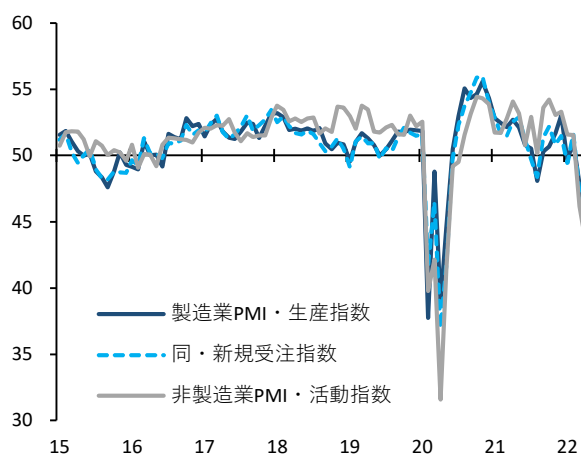
懸案の供給制約問題について確認すると、入荷遅延指数が先進国と新興国のいずれも小幅に改善した (図表 3)。ウクライナ危機は依然膠着状況にあり、上海市のロックダウン緩和も 6 月からということらを考慮すれば、コロナ関連の行動規制緩和による経済正常化の進展が主な背景と整理されよう。仕入れ価格指数は高止まりが続く (図表 4)。特に相対的に高い受注残や在庫積み上げ需要を抱える先進国でその傾向が強い。出荷価格指数は先進国で上昇が続いており、価格転嫁が進んでいることが示唆される (図表 5)。

以上は、製造業についてだが、非製造業についてみると興味深い事に気付く。先進国と新興国ともに、仕入れ価格指数 (77.9 と 57.9) と出荷価格指数 (64.5 と 53.7) のいずれもが 50 を大きく上回る。ただ、その差から算出した価格転嫁指数に底打ち感乏しい (図表 6)。つまり、今後、出荷価格への転嫁がさらに拡がりを見せる余地が見いだせる。実際、先に需要回復をみせた製造業の生産見通し指数に比べて、非製造業の活動見通し指数は堅調さがうかがえる (図表 7、8)。行動規制緩和による経済正常化の進展は、上述の供給制約問題を和らげる一方、新たなインフレ圧力の芽を育てている点には注意したい。

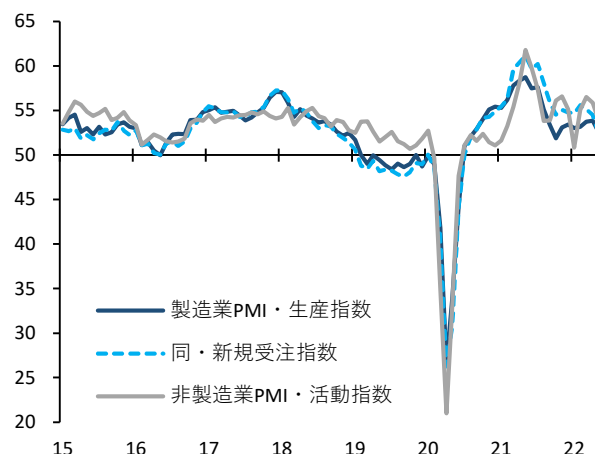
なお、新興国の国別 PMI は、行動規制緩和で経済正常化が進みつつある国で堅調さが目立った。インドは製造業 PMI (54.6) が高止まりするとともに非製造業 PMI (58.9) が続伸。ブラジルでは、製造業 PMI (54.2) が再上昇するとともに、非製造業 PMI (58.6) も高水準を維持している。また、全産業ベースの PMI となるが、シンガポールや香港、南アフリカで堅調さがうかがえる。このほか、フィリピンやベトナムでも製造業 PMI の生産および新規受注が高水準を維持している。

他方、上海市のロックダウン再開の影響で下振れしていた中国の PMI はいくらか改善を見せた。ただし、製造業 PMI の各指数では、生産 (38.5→43.2)、新規受注 (42.8→47.5)、入荷遅延 (37.8→43.3) 等、拡大/縮小の目安となる 50 には依然距離がある。非製造業では、活動指数 (36.2→41.4) や新規受注 (38.4→44.8) とさらに改善は鈍い。経済制裁の影響が懸念されるロシアも、一時期よりは改善をみせるも、多くの指数が 50 を下回っている。このほか、高インフレと通貨安に悩まされるトルコで製造業 PMI の低迷が続いている。コロナ対応の財政出動が乏しく、その後遺症が懸念されるメキシコも低迷が続く。また、中国经济との結びつきの強さを反映してか、台湾や韓国の製造業 PMI・生産指数の低下も目立った。

(注) 各国・地域別の PMI のグラフについては、6 月 13 日付の通貨ニュースでご確認いただけます。

図表 1: 新興国


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 先進国


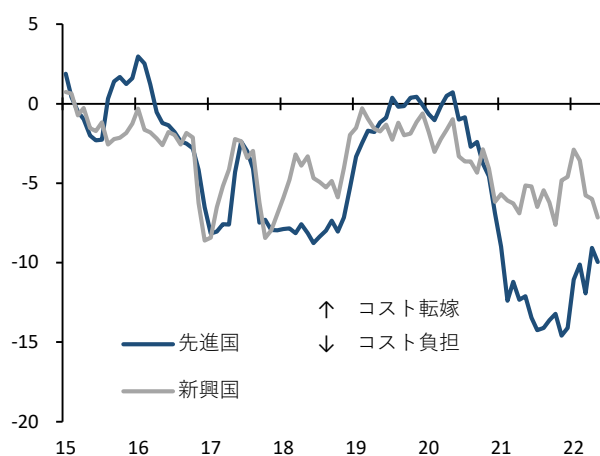
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: 製造業 PMI・入荷遅延指数


出所: S&P Global、みずほ銀行

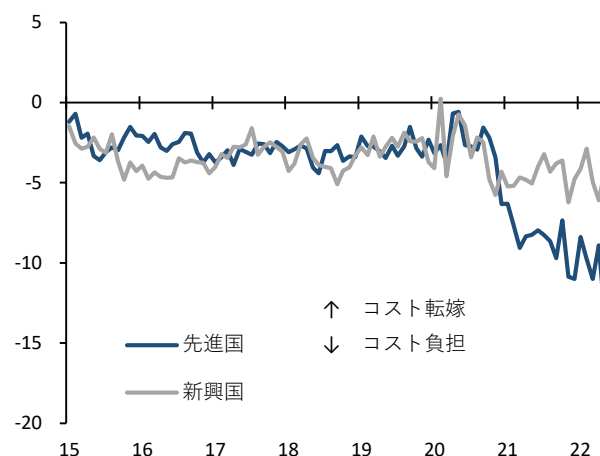
図表 4: 製造業 PMI・仕入れ価格指数


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI にみる価格転嫁動向


注: 出荷価格指数から仕入れ価格指数を差し引いた値をプロット

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 非製造業 PMI にみる価格転嫁動向


注: 出荷価格指数から仕入れ価格指数を差し引いた値をプロット

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI・生産見通し指数


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 非製造業 PMI・活動見通し指数


出所: S&P Global、みずほ銀行

市場概観(新興国)

ベトナムと台湾は一旦監視リストに戻る

市場営業部
大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

6 月 10 日に米財務省は半期に一度の為替政策報告書 (Semiannual Report on Macroeconomics and Foreign Exchange Policies of Major Trading Partners of the United States) を発表した。米財務省は為替政策報告書を 4 月と 10 月の 15 日までに毎年 2 回、議会に提出することになっている。前回の為替政策報告書は 2021 年 12 月 3 日に発表されており、今回は 6 月の発表となった。

2016 年 4 月以降の為替政策報告書では、外国の為替政策に対する監視体制を強化しており、3 つの基準を掲げてきた。その 3 つの基準は前回の為替政策報告書で一部変更され、今回はそれらをそのまま引き継いだ。具体的には①巨額の対米貿易黒字 (財・サービス、150 億ドル以上)、②大幅な経常黒字 (GDP 比 +3% 以上) もしくは実際の経常黒字と米財務省の計量モデル「GERAF」に基づいて算出される「最適な経常収支 (optimal current)」を比較して、その乖離が GDP 比で 1% 以上となる場合 (GERAF はファンダメンタルと適切なポリシーミックスを前提に最適な経常収支水準を推計する) ③外国為替市場での継続的かつ一方的な外貨買い為替介入 (ネット為替介入額が GDP 比 +2% 以上、過去 12 か月のうち 8 か月間で実施)。これらの 3 つの基準に全て合致した場合「為替操作国」と認定し、その国に対し二国間協議や一定の対抗措置を実施するとしている。2 つの基準に抵触した場合は「監視リスト」入りとなる。

前回の為替政策報告書ではベトナムと台湾が①②③の基準を全て満たしていたものの、為替操作国の認定は見送られ、為替操作国の疑いがあるという評価にとどめられた。

今回の為替政策報告書ではベトナムは①の基準を 1 つ、台湾は①と②の基準を 2 つ満たす格好となり、為替操作国の疑いがあるという評価から外れ、監視リスト入りとなった。ベトナムにおいては 1 つの基準しか満たしていないものの、2 回連続で 2 つの基準を満たさなくなるまでは監視リスト入りとなる。また、ベトナムと台湾両国においては前回 3 つの基準を全て満たしているため、米財務省は少なくとも 2 回連続で 3 つの基準を満たさなくなるまでは、ベトナムと台湾の入念な分析を続けるとしている。前回の監視リストに入っていたスイスは、今回①②③の全ての基準を満たしたが、為替操作国認定は見送られた。スイスにおいては 2021 年初頭に開始した二国間の取り組みを強化し、対外不均衡の根本的な要因に対処するための方策などについて協議するとしている。

なお、前述のベトナムと台湾のほか、中国、日本、韓国、ドイツ、イタリア、インド、マレーシア、シンガポール、タイ、メキシコが今回も監視リスト入りした。中国は前回の報告書では①と②の基準を満たしていたが、今回は①の基準のみとなった。中国については引き続き、大規模な自国通貨売り・外貨買い介入を行っている可能性があるとの認識を示し、透明性が欠如しているため監視の必要性があるとした。アイルランドは 2 回連続で 1 つの基準しか満たさなかったため今回、監視リストから外れている。

今回も前回同様、3 つの基準を満たしている国があったものの、為替操作国の認定は見送られている。しかし、今回の為替政策報告書でバイデン政権は、米国の労働者に対して人為的に通貨価値を操作することにより不当な優位性を得ようとする米国

の貿易相手国の試みに強く反対する姿勢を示した。また、米財務省は、一部の国が経済のファンダメンタルズに沿った自国通貨高に抵抗するため、為替介入を拡大させていることに懸念している。引き続き、通貨の過小評価や対外不均衡の是正を求めている。このような米財務省の姿勢は各国や各地域の通貨当局による自国通貨売り・外貨買いへの牽制や圧力になるだろう。

図表 1: 米国為替政策報告書における監視リストの現状(2022 年 6 月)

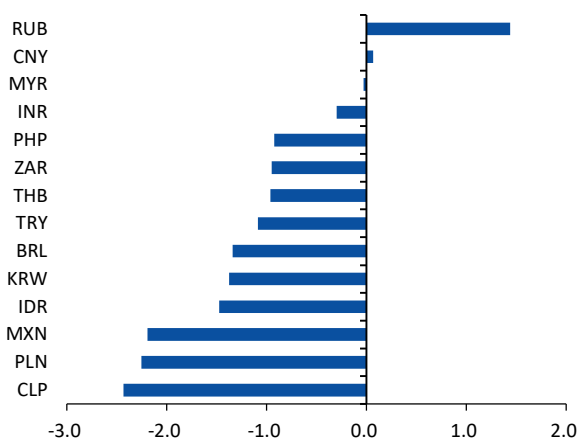
	為替介入			経常収支				貿易収支 10億ドル	3つの基準に 抵触	監視対象
	純外貨購入額		持続的介入	規模			ギャップ			
	対GDP比	10億ドル		対GDP比	3年間変化	10億ドル				
カナダ	0.0%	0	No	0.1%	2.4%	1	-5.7%	25		
メキシコ	0.0%	0	No	-0.4%	1.6%	-5	-0.9%	106		○
中国	0.1～1.6%	24～290	Yes	1.8%	1.6%	317	0.3%	340		○
日本	0.0%	0	No	2.9%	-0.7%	141	2.0%	55		○
ドイツ	0.0%	0	No	7.6%	-0.5%	319	3.8%	73		○
英国	0.0%	0	No	-2.6%	1.3%	-83	-1.5%	-17		
韓国	-0.8%	-14	No	4.9%	0.4%	88	-2.7%	22		○
アイルランド	0.0%	0	No	14.1%	8.9%	70	11.0%	11		
スイス	2.8%	23	Yes	9.3%	3.2%	75	1.7%	21	◎	
インド	1.3%	41	No	-1.1%	1.3%	-35	0.3%	45		○
台湾	1.2%	9	Yes	14.8%	3.2%	115	7.4%	40		○
オランダ	0.0%	0	No	9.5%	-1.3%	97	0.6%	-24		
フランス	0.0%	0	No	-0.8%	0.0%	-23	-1.9%	22		
ベトナム	2.8%	10	No	-1.1%	-3.0%	-4	1.4%	90		○
シンガポール	7.3%	29	Yes	18.1%	3.0%	72	6.3%	-21		○
ブラジル	-1.9%	-30	Yes	-1.7%	0.9%	-28	1.2%	-26		
イタリア	0.0%	0	No	2.5%	-0.1%	52	-3.2%	39		○
マレーシア	0.2%	1	No	3.8%	1.6%	14	-1.0%	41		○
タイ	-2.2%	-11	No	-2.1%	-7.7%	-11	0.1%	33		○
ベルギー	0.0%	0	No	-0.4%	0.4%	-2	-5.7%	-12		
ユーロ圏	0.0%	0	No	2.4%	-0.6%	340	0.3%	132		

注: 監視リスト入りの基準は、①対米貿易黒字(年間 150 億ドル以上)、②経常黒字(GDP 比で+3%以上もしくは GERAF に基づく「適切な経常収支」と実際の経常収支の乖離(ギャップ)が 1%以上)、③一方的且つ継続的な外貨買い為替介入(GDP の+2%以上、過去 12 か月のうち 8 か月間で実施)。

出所: 米財務省、みずほ銀行

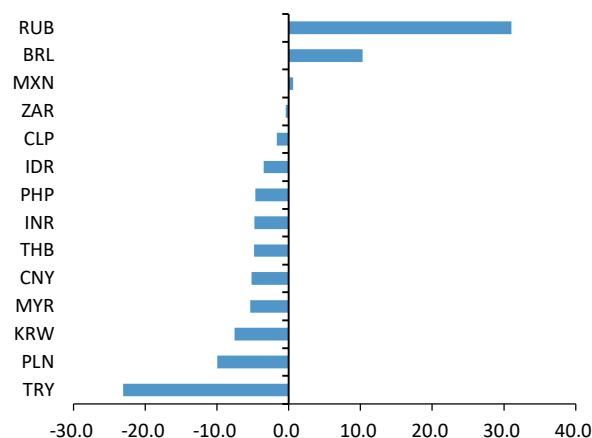
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



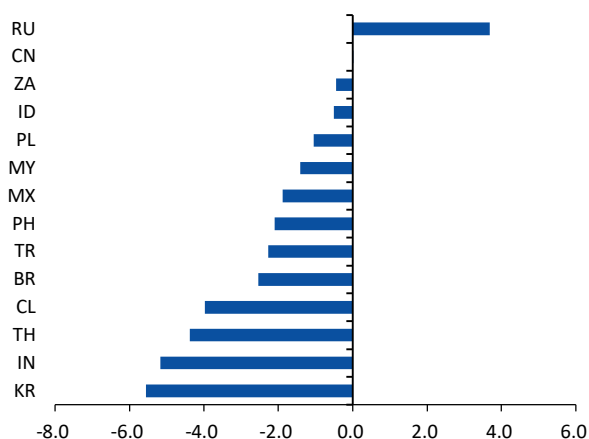
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



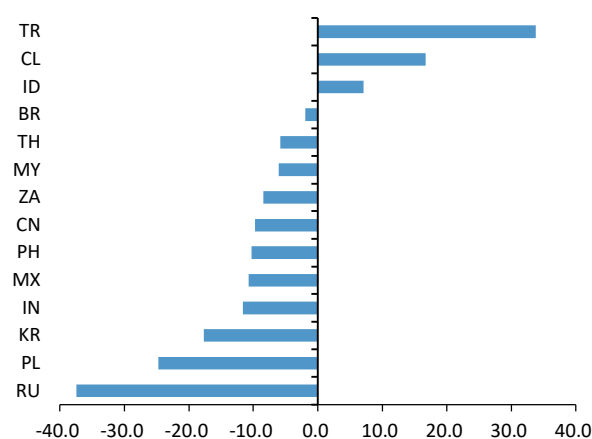
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



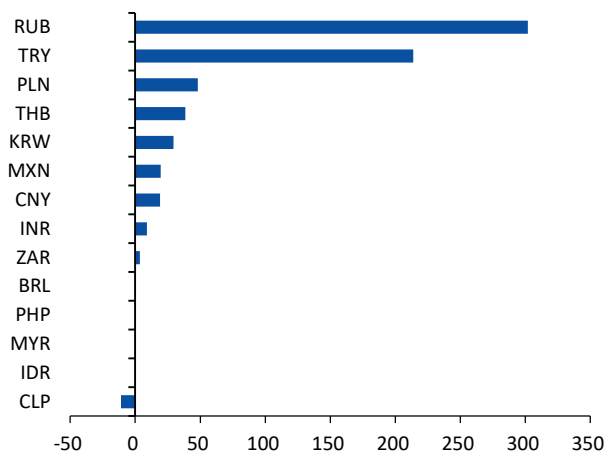
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

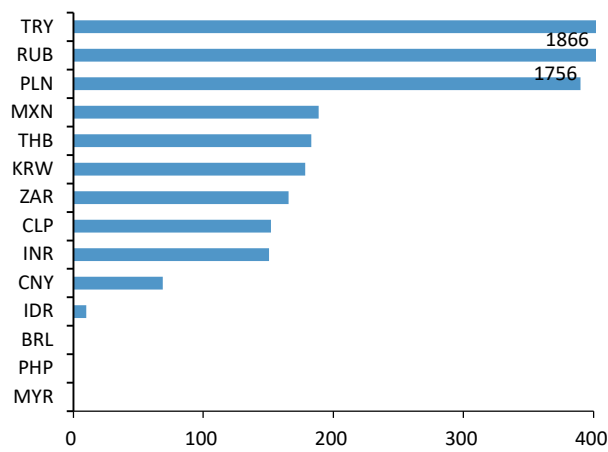
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

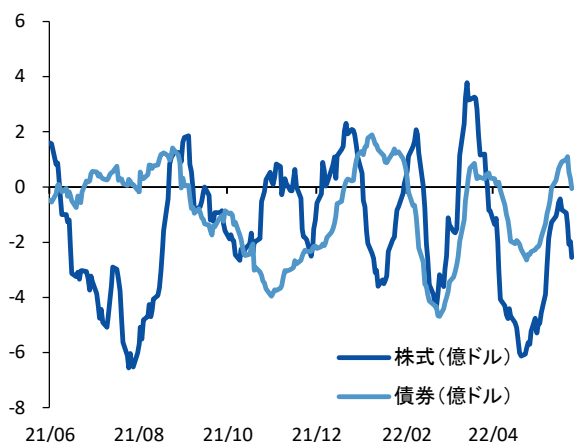


注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

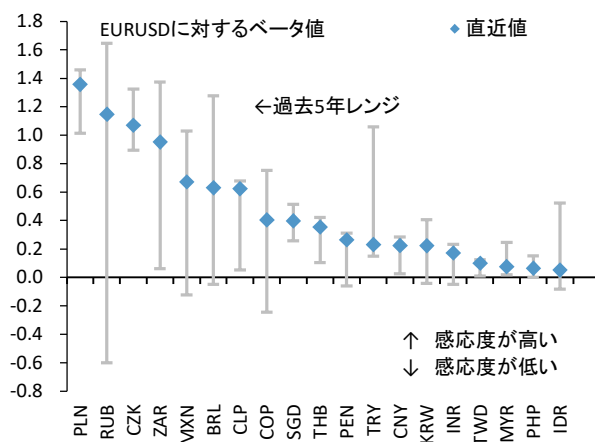
チャート集

主要新興国への証券投資(4 週間移動平均)



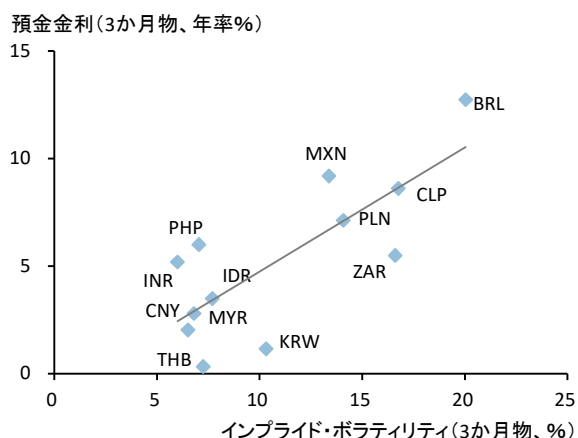
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

EM 通貨(対ドル)の EURUSD に対する感応度(過去 12 か月)



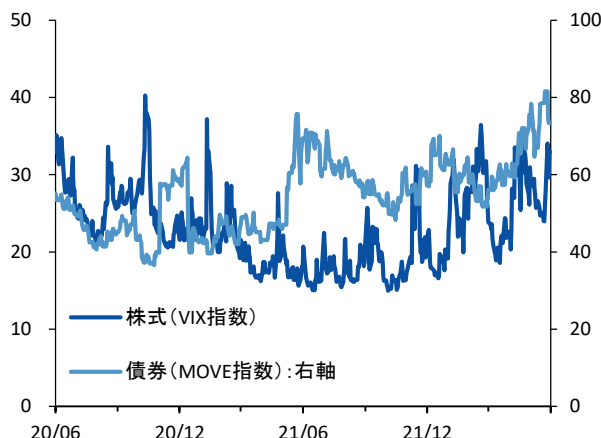
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



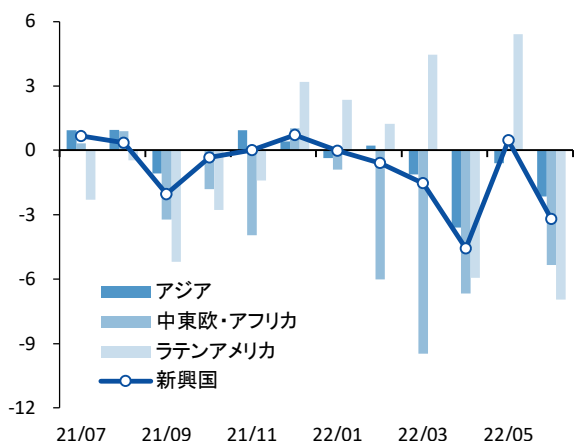
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX 指数、MOVE 指数)



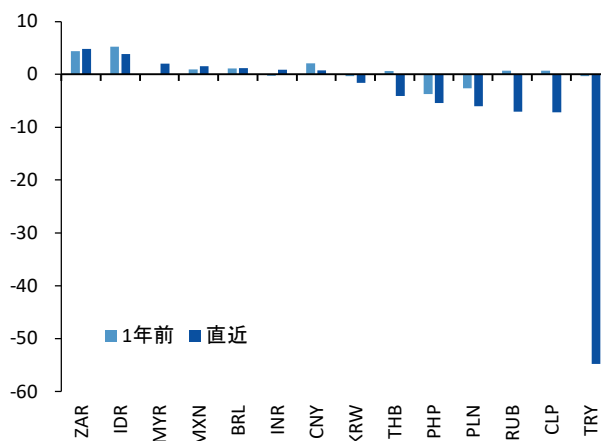
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10 年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
6月13日 (月)	インド	CPI(前年比)	7.1%	7.0%	7.8%	--
14日 (火)	インド	卸売物価(前年比)	15.2%	15.9%	15.1%	--
14-15日	インド	輸出(前年比)	--	20.6%	30.7%	--
14-15日	インド	輸入(前年比)	--	62.8%	31.0%	--
14-17日	フィリピン	Overseas Cash Remittances YoY	3.5%	3.9%	3.2%	--
15日 (水)	中国	鉱工業生産(前年比)	-1.0%	0.7%	-2.9%	--
15日 (水)	中国	小売売上高(前年比)	-7.1%	-6.7%	-11.1%	--
15日 (水)	中国	固定資産投資(除農村部/年初来/前年比)	6.1%	6.2%	6.8%	--
15日 (水)	インドネシア	貿易収支	\$2250m	\$2900m	\$7560m	--
16日 (木)	台湾	CBC指標金利	1.625%	1.500%	1.375%	--
17日 (金)	シンガポール	非石油地場輸出(前年比)	--	--	6.4%	--
17日 (金)	シンガポール	電子機器輸出(前年比)	--	--	12.8%	--
17日 (金)	マレーシア	輸出(前年比)	--	--	20.7%	--
18-23日	フィリピン	総合国際収支	--	--	-\$415m	--
20日 (月)	台湾	輸出受注(前年比)	--	--	-5.5%	--
22日 (水)	タイ	貿易収支(通関ベース)	--	--	-\$1908m	--
22日 (水)	フィリピン	財政収支(フィリピンペソ)	--	--	4.9b	--
23日 (木)	韓国	PPI 前年比	--	--	9.2%	--
23日 (木)	シンガポール	CPI(前年比)	--	--	5.4%	--
23日 (木)	フィリピン	BSP翌日物借入金利	--	--	2.25%	--
23日 (木)	インドネシア	インドネシア銀行7日物リハースレホ ^o	--	--	3.50%	--
23日 (木)	台湾	鉱工業生産(前年比)	--	--	7.3%	--
24日 (金)	マレーシア	CPI(前年比)	--	--	2.3%	--
24日 (金)	シンガポール	鉱工業生産(前年比)	--	--	6.2%	--
中東欧・アフリカ						
6月13日 (月)	トルコ	経常収支	-3.20b	-2.74b	-5.55b	--
13日 (月)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	6.4%	10.8%	9.6%	--
15日 (水)	南ア	小売売上高(実質値、前年比)	1.7%	3.4%	1.3%	--
17日 (金)	ロシア	GDP(前年比)	3.5%	--	3.5%	--
20日 (月)	トルコ	外国人観光客(前年比)	--	--	225.6%	--
22日 (水)	南ア	CPI(前年比)	--	--	5.9%	--
22日 (水)	ロシア	PPI 前年比	--	--	31.5%	--
23日 (木)	トルコ	1週間レホレート	--	--	14.00%	--
24日 (金)	トルコ	製造業景況感指数(季調前)	--	--	10940.0%	--
24日 (金)	トルコ	設備稼働率	--	--	78.0%	--
ラテンアメリカ						
6月13日 (月)	ブラジル	貿易収支(月次)	\$4500m	\$4944m	\$8148m	\$8088m
16日 (木)	ブラジル	SELICレート	13.25%	13.25%	12.75%	--
20-25日	ブラジル	経常収支	\$300m	--	-\$2414m	--
21-26日	ブラジル	税収	--	--	195085m	--
23日 (木)	メキシコ	小売売上高(前年比)	--	--	3.8%	--
23日 (木)	メキシコ	オーバーナイトレート	--	--	7.00%	--
24日 (金)	メキシコ	経済活動IGAE(前年比)	--	--	0.4%	--
24日 (金)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	--	--	0.6%	--
24日 (金)	ブラジル	海外直接投資	--	--	--	--

注: 2022 年 6 月 17 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2022年 1～5月（実績）	SPOT	2022年 6月	9月	12月	2023年 3月	6月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	6.3065 ～ 6.8125	6.7044	6.65	6.70	6.70	6.73	6.75
香港ドル	(HKD)	7.7825 ～ 7.8500	7.8495	7.85	7.85	7.85	7.84	7.83
インドルピー	(INR)	73.779 ～ 77.928	78.075	78.3	77.5	76.2	75.3	74.4
インドネシアルピア	(IDR)	14250 ～ 14753	14768	14700	14680	14390	14300	14150
韓国ウォン	(KRW)	1185.81 ～ 1291.38	1286.25	1250	1270	1270	1280	1270
マレーシアリング	(MYR)	4.1645 ～ 4.4078	4.4032	4.42	4.38	4.30	4.26	4.26
フィリピンペソ	(PHP)	50.753 ～ 52.714	53.478	53.3	52.8	52.4	52.0	51.7
シンガポールドル	(SGD)	1.3408 ～ 1.3986	1.3837	1.39	1.39	1.37	1.35	1.35
台湾ドル	(TWD)	27.496 ～ 29.887	29.736	29.2	29.4	29.5	29.8	30.0
タイバーツ	(THB)	32.09 ～ 34.85	35.10	34.9	35.3	34.6	34.0	33.8
ベトナムドン	(VND)	22627 ～ 23206	23200	23250	22950	22700	22600	22550
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	55.4688 ～ 177.2606	58.4433	70.0	72.0	75.0	77.0	79.0
南アフリカランド	(ZAR)	14.4025 ～ 16.3237	16.0129	15.8	15.4	16.2	16.6	17.0
トルコリラ	(TRY)	12.8029 ～ 16.4668	17.3137	16.8	17.5	18.5	19.8	20.0
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	4.5853 ～ 5.7239	5.0552	4.95	5.20	5.20	5.05	4.95
メキシコペソ	(MXN)	19.4136 ～ 21.4676	20.4275	19.8	20.2	20.4	20.5	20.5
対円								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	17.867 ～ 20.201	19.708	19.55	19.70	19.85	19.93	19.56
香港ドル	(HKD)	14.576 ～ 16.734	16.888	16.57	16.83	16.95	17.09	16.86
インドルピー	(INR)	1.491 ～ 1.715	1.698	1.66	1.70	1.75	1.78	1.77
インドネシアルピア	(100IDR)	0.792 ～ 0.907	0.898	0.884	0.899	0.924	0.937	0.933
韓国ウォン	(100KRW)	9.322 ～ 10.464	10.300	10.40	10.39	10.47	10.47	10.39
マレーシアリング	(MYR)	27.109 ～ 30.332	30.252	29.41	30.14	30.93	31.46	30.99
フィリピンペソ	(PHP)	2.202 ～ 2.500	2.510	2.44	2.50	2.54	2.58	2.55
シンガポールドル	(SGD)	84.19 ～ 94.61	95.81	93.53	94.96	97.08	99.26	97.78
台湾ドル	(TWD)	4.060 ～ 4.441	4.457	4.45	4.49	4.51	4.50	4.40
タイバーツ	(THB)	3.416 ～ 3.828	3.787	3.72	3.74	3.84	3.94	3.91
ベトナムドン	(10000VND)	0.5005 ～ 0.5723	0.5714	0.56	0.58	0.59	0.59	0.59
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	0.680 ～ 2.303	2.274	1.86	1.83	1.77	1.74	1.67
南アフリカランド	(ZAR)	7.190 ～ 8.806	8.279	8.23	8.57	8.21	8.07	7.76
トルコリラ	(TRY)	7.639 ～ 9.008	7.655	7.74	7.54	7.19	6.77	6.60
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	20.216 ～ 27.844	26.228	26.26	25.38	25.58	26.53	26.67
メキシコペソ	(MXN)	5.377 ～ 6.572	6.489	6.57	6.53	6.52	6.54	6.44

注: 1. 実績の欄は 2022 年 5 月 31 日まで。SPOT は 6 月 17 日の 8 時 20 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。